

(資料4) 平成2年度における腸内病原微生物検出状況

微生物課 臨床検査係

平成2年度に実施した一般依頼、勸奨検便、行政検査による防疫検便等からの腸内病原微生物検出状況を表1に示した。

本年度は防疫検便として海外旅行者の検便が80名と比較的多く、15件が陽性で中でもETECが5件と最も多かった。

1) 依頼検査の赤痢およびサルモネラ検出状況

一般依頼および勸奨検便38,494件の検便を行い、12件よりサルモネラが検出された。

依頼及び行政検査で検出されたサルモネラ21株の血清型別を表2に示した。

2) 行政検査の腸内病原微生物検出状況

真性赤痢の接触者3名から*Shigella sonnei*を検出した。3名とも海外旅行同行者であり、そのうち1名はサルモネラとの混合感染であった。また、赤痢アメーバの接触者よりランブル鞭毛虫と異形吸虫卵を検出した。海外旅行者の自己申告者は8名であったが、3名よりサルモネラ2株とEPEC1株を検出した。

防疫検便以外の行政検査としては、民間検査機関にて同一施設で複数名から同型のサルモネラが検出されたため、施設従業員102名全員の検便を実施し、内4名からサルモネラ07を検出した。

表2 分離サルモネラの血清型

血清型	勸奨	行政検査		合計
		防疫	その他	
04 l,v:e,n,z15		1		1
f,g,s:	4			4
d:不明	1			1
07 r:l,5	2			2
r:l,2	1			1
k:l,5			4	4
08 k:l,5	1	1		2
Z10:e,n,z15		1		1
Z10:e,n,x	1			1
03,10 e,h:l,6		2		2
r:z6	1			1
不明 e,h:l,6	1			1
合計	12	5	4	21

表1 平成2年度の腸内病原微生物検査成績

区分	検査件数	サルモネラ					赤痢	カンピロバクター	プレシモナス	シクロプテス	ETEC	EPEC	ランブル鞭毛虫	異形吸虫	陽性件数
		04	07	08	03,10	不明									
統計	39,055(80)	6	7	4(2)	3(2)	1	3(3)	1(1)	1(1)	6(5)	2(2)	1	1	36(16)	
依頼検査	小計	38,494	5	3	2	1	1							12	
	一般検便	3,238													
	勸奨検便	35,256	5	3	2	1	1							12	
行政検査	小計	561(80)	1	4	2(2)	2(2)		3(3)	1(1)	1(1)	6(5)	2(2)	1	1	24(16)
	コレラ	31(31)							1(1)						1(1)
	チフス	11(1)													
	パラチフス	8	1												1
	細菌性赤痢	322(40)				2(2)		3(3)		1(1)	6(5)	1(1)			13(12)
	赤痢アメーバ	43											1	1	2
	旅行者*	8(8)				2(2)						1(1)			3(3)
経過者	36														
その他	102		4											4	

注. ()内は海外旅行者再掲 *は海外旅行者の自己申告者数